

「植民地体験と記憶」を 読む会

本センターでは、「植民地体験と記憶」を読む会を足します。「歴史的な和解の可能性を模索する韓国学体験・記憶・共生のスペクトラム」という主題で、人文・社会学を軸に新たな韓国学を推進します。近代日韓両国の歴史的な「体験」と「記憶」の政治学、そして「共生」のための可能性を模索します。

従来の研究成果を批判的に継承し、日韓両国が解決すべき懸案を冷静に直視しながら、歴史的な和解と共生の可能性を模索するための学際的な共同研究を推進する予定です。人文科学・社会科学・法学などを統合し、個別の研究領域を超えて学際的、脱地域的、比較的なアプローチを指向するため、興味のある研究者の積極的な参加を期待します。

第1回 研究会

- テーマ : 猪原とし子の『嘗の隣邦朝鮮の事ども』
と植民地朝鮮
- 発表者 : 李圭洙 (一橋大学韓国学研究センター)
- 日時 : 2017年2月17日 (金) 午後3時
- 場所 : 国際研究館4階 共同研究室2